



編集・発行
 日蓮宗 能勢妙見山
 広報部
 〒563-0132
 大阪府豊能郡能勢町野間中
 電話 072-739-0329
 FAX 072-739-2883

虫払会祈禱祭

江戸時代のこと、能勢に帰国中の領主が急遽江戸に戻るよう
 呼び出されましたが、大井川の増水で川を渡れません
 宝刀浪切丸で波を鎮め事なきを得たと伝えられています

〔7月の主な行事〕

- ★写経会 9日(日) 11時
- ★清掃の日 15日(土) 11時
- ★月例祈願法要 15日(土) 13時
- ★鷗様月例祭 22日(土) 15時

火伏せ守りの黒札を授与します

- ☆虫払い会祈禱 22日(土)〜24日(月)

宝刀「浪切丸」を頭頂に戴いて煩惱の虫を払います

〔8月の行事予定〕

- ★写経会 13日(日) 11時
- ★清掃の日 15日(火) 11時
- ★月例祈願法要 15日(火) 13時
- ☆孟蘭盆会施餓鬼法要 22日(火) 13時
- ★鷗様月例祭 22日(火) 15時

●星嶺演奏会・茶論は当面の間休止

◎ご祈禱・御回向等のお申込はFAX・メールでも
 受け付けています

- 諸行事は社会情勢により変更する場合があります
- ◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい
- 出会いの鐘巡り・登山カード押印は再開しました
- 奉賛会会員の送迎車の運行につきましては

事務所にお問い合わせ下さい

◆ケーブル&リフトは水・木は定休(但し例外あり)

(詳細は能勢電鉄へ Tel 072-792-7716)

初心忘るべからず

倉橋 観隆

先日大雨の中、駅前横断歩道を渡ろうとした時、信号無視をした自転車突っ込んで来ました。

「危ない」間一髪、衝突は避けられましたが私の傘は飛んで相手も転びそうになりました。

その自転車に乗っていたのは女子高生。右手には傘とペットボトル、左手にはスマホ。さらに自転車は電動自転車。かなりのスピードが出ていました。

次の瞬間「赤信号だぞ前を見なさい」声を荒げていました。「ごめんさ

い」彼女は体勢を立て直してそのまま走り去りました。両者怪我なく済みましたがこんな事故が最近頻発しています。

私は瞬間、大声で相手を責めました。後で冷静に振り返ると小学二年の折り

彼女と同じ事をしたの思い出し、ハッとしました。

初めて自転車に乗れた時の事。父に後ろを支えても踏みました。「離すで」父が手を離しても真っ直ぐ走れました。「やった！」あの時の感動、父への感謝。しかし時と共に自由に操れるようになり、そのうち手離し運転をするようになりまし

た。それがある時バランスを崩し、歩行者の列へ突っ込んでしまいました。その時も双方怪我もなく済みましたが、慣れが油断を招きそれが事故に繋がる事を改めて思い起しました。

私たちは往々にして最初は新鮮で感謝の念も懐きま

す。しかし時が経ち慣れて来るとその状況が当たり前になり、さらにそれが高じておごりとなつてはいない

でしょうか。

この「おごりの心」を法華経では「増上慢」と呼ん

で心を蝕む猛毒だと説いています。

ではこの毒を消す妙薬はあるのでしょうか？

あります！この心を固く戒めた法華経。そのエキスである「南無妙法蓮華経」がそれです。この妙薬を日々に唱え、心に頂くことで毒に冒された自分に気付かせて頂けるのです。

初心は忘れがちになるもの。だからこそ日々初心に戻る努力が必要なのです。

奉賛会員の募集

妙見大菩薩とご縁を結んで戴いた会員様には行事のご案内、専用車両にての送迎、無料駐車券提供等の便宜を図っております。是非入会お申し込み下さい。詳細は寺務所へお問合せ下さい。

《法華経に学ぶ現代》

純智庵

甘露を以て灑ぐに

昔インドの神々は

暑さを凌ぐためなのか甘露という名の酒を飲み

心に涼風入れたとか

それに擬えお釈迦さま

この世に潤いを与えんと

甘露の法雨を降らせませ

長雨シトシト厭だけど

雨を喜ぶ紫陽花は

今日も静かに咲いています

イライラするのは止めましょう

得るがごとし

『授記品第六』

仏教まめ辞典

一蓮托生(いちれんたくしやう)

古い時代劇。追いつめられた悪党の決まり文句が「こうなりやあ一蓮托生だ。みんな揃って冥土へ……」。

一般には、最後まで運命を共にすることをいい、多くは悪いことを共にすることに使う。中世、浄土教の隆盛ともなつて極楽の蓮の上に往生することを目指す風潮がでてきた。そして仲のよい夫婦や仲間、またこの世で結ばれない恋人同士が極楽の同じ蓮華の上に生まれ変わることを願つたのが「一蓮托生」である。まるで浄土教から始まつたようだが、実は出典は法華経の薬王菩薩本地品で、「もし女人あつてこの経(法華経)を聞いて説の如く修行せば、命終して(中略)蓮華の中の宝座の上に生ぜん」とある。一蓮托生のために大切なのは、まずこの世で法華経を信じ修行するといふことであると説く。